

市立病院等 調査特別委員会

旧共立病院について

〔説明〕旧共立病院の企業債繰上償還や補助金返還等については、平成十四年七月の病院新築移転の時点で、関係機関と一定の協議・事務手続等を行っている。その時は取り壊しという前提で協議していたと聞いている。

〔質問〕過去の経緯を見て

いると、取り壊しはかなりの経費がかかるので先延ばしをしたように思えるが。

〔答弁〕建物改修という選択肢もある中で、よりよい医療環境を築きたいということから、新築移転になった。その中で建物取り壊しの話もあったようだが、当時の病院及び旧富士町、旧大和町の財政状況が悪く、まずは建設を優先させるということになったと聞いている。

〔質問〕旧共立病院の維持

中心市街地活性化 調査特別委員会

エスプラッツについて

〔説明〕一階はスーパー、カフェ、旅行者の入店が固まり、レストランと詰め込みの交渉を行っている。二階は子育て支援関係施設、ハローワークプラザ、バスポートの申請受付・交付などを行う市民生活課窓口、

観光交流プラザを計画している。あとは医療施設などと交渉中である。また核テナントのスーパーは賃料を当初二年間は暫定措置で坪当たり月四千円を二千五百円に減額する。

〔質問〕取得や改修で多大な経費がかかっているが、賃料を減額することで今後の市の負担はどうなるのか。

〔答弁〕賃料は占用部分の維持管理費を回収する設定

経費は、企業債の返還が終了する予定の平成二十二年までの四年間でどれくらいかかるのか。

〔答弁〕巡回警備の委託料と借地料等で、年間約二百二十万円かかっているの、四年で約一千万円になる。

〔質問〕借地の契約は、旧共立病院を解体した場合に契約の解除をすることが可能な内容か。

〔答弁〕契約の解除は可能だが、元の農地に復旧する

という条件なので、地権者との協議が必要になる。

〔質問〕旧共立病院の敷地及び建物等について、庁内で利活用策を募ったとのことだが、民間との協議はまったくされていないのか。

〔答弁〕民間からいくつかの問い合わせはあっているが、公の財産なので公募が一番望ましいと思っている。

〔意見〕庁内での利活用策検討はある程度で期限を切って、民間公募、建物解

体という段階を検討すべきである。

〔質問〕旧共立病院の敷地中、この問題については早い時期に解決すべきである。これまでの特別委員会での議論により、問題点は明確になっているので、予算措置等を検討した上で、執行部として具体的な方向性を示してほしい。

特別委員会

で、減額しても管理運営費は賄えるが、取得費などの経費は回収できない。

〔質問〕エスプラッツ全体の一日の来館想定人数は四千人だが各施設の内訳は。

〔答弁〕一階のスーパーは他の場所で展開されている店舗の実績と今回の面積などをもとに専門家等と検討を行った結果二千五百人、飲食エリアは三百六十人で

一階についてはその他もあわせて合計で三千人。二階は現在の実績で四百五十人とカルチャーセンターの計画人数の計で五百五十人。合計四千人と考えている。

〔質問〕契約期間を五年と想定されているが、今までのスーパーは短期間で撤退しているため、契約書に早期撤退を行った場合のペナ

ルティの条項を入れるべきと思うがどうか。

〔答弁〕先方からも五年以上の使用期間をとる希望が強いので現在は考えていないが、今後どういう形で文書を取り交わせるかなど出店者側と協議を行いたい。

〔質問〕まちづくりの観点では地元自治会や商店街との協力が不可欠だと思う。テナントは県外業者が多いが協力は得られるのか。

〔答弁〕商工会議所と二年間TMO事業を集中的に行っていることや、ひなまつりを初めとした事業に商店街や住民から協力をいただけるようになってきている。エスプラッツを開店させ成果をあげていくため、地元の協力をさらにお願ひしたい。



旧共立病院

二月二十七日の最高裁判所判決を受け、永瀧利己氏が佐賀市議会議員に当選し、会派、委員会等の異動がありました。



ながみ としみ 利己 永瀧

会派・控室別議員氏名表

◎代表者 ○副代表者(平成十九年三月五日現在)

社民党 3人

◎田中喜久子

○井上雅子

西村嘉宣

政新会 8人

◎亀井雄治

○松尾和男

豆田繁治

西岡義広

野中久三

片淵時汎

福島龍一

永瀧利己

委員会委員の選任

○建設環境委員会委員

▽永瀧利己

○市立病院等調査特別委員会委員

▽永瀧利己

○議会運営委員会委員

▽福島龍一

(川原田裕明委員の辞任による選任)

委員会の委員定数変更

○議会広報調査特別委員会
八名を七名に変更

議員選挙の結果

○佐賀地区衛生処理組合議会議員選挙の当選人

▽永瀧利己

自民市政会 8人

◎黒田利人

○永瀧義久

福井久男

嘉村弘和

福井章司

川原田裕明

堤正之

山口弘展

公明党 4人

◎池田正弘

○中本正一

野口保信

野中宣明

野中宣明

日本共産党 2人

◎山下明子

○中山重俊

民主クラブ 4人

◎本田耕一郎

○千綿正明

藤野靖裕

森裕一

編集委員のつぶやき

以来の大地震となった。佐賀市においても震度四を観測した。その時の記憶はまだ鮮明である。自宅にいた私は、日ごろ強そうなことを言っていた。いざその場にいると、何も出来ない事がわかった。反省しきりである。昨年は台風、集中豪雨と、今までにない



佐賀城本丸歴史館の桜

今年の桜はおかしい、このよ
うな声を聞いた。いつもの華やか
さがなく、ひっそり咲いている
感じがするというのだ。異常
気象といわれ始めてから久しい
が、特にここ数年、その気象の
変化が顕著な感じがする。今年
の夏はどうなるのだろうか、そ
れさえも予測が難しい。最近思
いもよらぬ災害が起きる。能登
半島地震、ソロモン諸島沖地震
と、立て続けに起きた。「天災は
忘れた頃にやってくる」とは寺
田寅彦の言葉である。一昨年、
福岡西方沖地震が発生し、有史
災害が発生した。我が家では、
西方沖地震の後、大きい家具に
はL字金具、冷蔵庫には突っ張
りポールで固定した。それでも
まだ不十分である。佐賀市も例
外ではない。常日頃の備えを怠
りなくしておきたい。また、周
りにどのような人が住んでいる
のか、心に留めておくことも大
事である。能登半島地震では、
日ごろのつながりが、被害を最
小限に食い止めた。災害時に
いて、お互いに支え合う協働の
精神が、威力を発揮する。

(野口)